

# 前田小 ICT 研究通信

あきる野市 ICT 活用研究推進校 令和4年6月 No.7

## ICT の活用を通して、 すすんで学び合える児童の育成

第6回 校内研究授業 理科「こん虫を調べよう」

授業者 第3学年1組 教諭

### ★研究主題に関わる児童の姿と、ICT 活用の具体的な手立て



#### ☆一人一人のデジタル教科書の活用☆

デジタル教科書を活用して、児童がタブレットで昆虫の写真を拡大したり回転させたりしながら、自主的に学べるようにした。単元を通して児童に親しみのある昆虫を扱っているが、詳しく観察した経験は少なく、実際に昆虫を捕まえても、動いてしまうので、細かい部分まで観察するのは難しいようだ。

タブレットのデジタル教科書で気になる部分を拡大したり、分かったことをワークシートに書き込んだりしながら、より主体的な学びへとつなげることができた。



#### ☆学びの共有☆

デジタル教科書でじっくり観察し、気付いた昆虫の体のつくりを、タブレットで指し示しながら伝えることで、気付きの共有がしやすかった。また、頭、胸、腹の境目が曖昧な昆虫についても、児童同士でタブレットの画像を拡大したり回転したりしながら、相互に意見を出し合い、学びを深めていた。

### 第6回 校内研究授業を終えて

デジタル教科書には、授業で活用できるコンテンツがたくさん掲載されているため、教師は内容をよく吟味した上で、より効果的な提示を工夫することが求められる。今回の授業では、昆虫のからだを拡大したり回転させたりできるコンテンツを活用することで、実物よりも見やすくなり、一人でじっくり観察したり、友達と意見交流をしたりしながら、学びを深めることができた。

一方、デジタルではなく実物を扱う良さもあるため、「授業での提示場面を工夫することで、より児童の関心に沿った学習展開ができるのでは」という意見も出た。



デジタル教科書で気づいたことを、実物で確かめる児童